

廃棄物資源循環学会 リサイクル部会

3R促進のためのポイント制度等
経済的インセンティブ付けに関する
検討会報告

2010年2月19日(金)

(株)エックス都市研究所
環境エンジニアリング部
小林 均

1

検討概要

近年、温暖化対策分野を中心としたポイントシステムなど、
経済的なインセンティブ付けを活用した取組が進んでいる

更なる廃棄物の発生抑制と環境負荷の低減を図るため、消費者・市民、
事業者の3Rにつながる環境行動を一層促進することが必要

ポイントシステムの活用

3R分野においてポイントを付与する既存の取組事例等を参考に、

- 3R分野におけるポイントシステム活用の類型化
- 事業の発案、事業計画の検討、事業の実施及び評価の段階毎の課題の整理及び提言

課題

- ・費用負担を含めた関係者の役割分担や事業効果の明確化等
- 3Rエコポイントシステムの導入に向けて**
- ・関係者連携の上で導入に向けた計画的な取組の必要性
- ・ガイドラインの検討
- (3Rエコポイントの事業の発案、事業計画の策定、事業実施計
- 画に至るまで、共通する課題やそれを踏まえた取組視点等)

2

検討体制

委員長: 崎田 裕子 環境カウンセラー・ジャーナリスト
中央環境審議会委員

委員 : 大島 美保 アスクル(株)環境マネジメントマネージャー
大和田 順子 ロハスビジネスアライアンス共同代表
小野田 弘士 早稲田大学環境総合研究センター准教授
田崎 智宏 (独)国立環境研究所循環型社会・
廃棄物研究センター主任研究員

環境省: 谷津龍太郎 廃棄物・リサイクル対策部部長
大森 循環型社会推進室長、白石補佐、松浦担当

事務局: (株)エックス都市研究所

(五十音順)

3

構成

I 総論

- 3Rエコポイントの概要
 - ・3Rエコポイントシステムとは
 - ・3R行動とは
- 3R分野におけるエコポイントの意義・目的
 - ・機能
 - ・目標・目的
 - ・主体ごとの意義・役割(負担)・効果
- 事業効果定着のための必須要素

II 3Rエコポイントの事業類型

- ・入口
- ・体制
- ・出口

III 3Rエコポイントシステムのケーススタディ

- ケーススタディの具体的内容
- ケーススタディの評価
- 3Rエコポイントによる推進が期待される事業

IV 課題

- 「事業の発案」の段階における課題と方向性
- 「事業計画の検討」の段階における課題と方向性
- 「事業実施」の段階における課題と方向性
- 「評価」の段階における課題と方向性

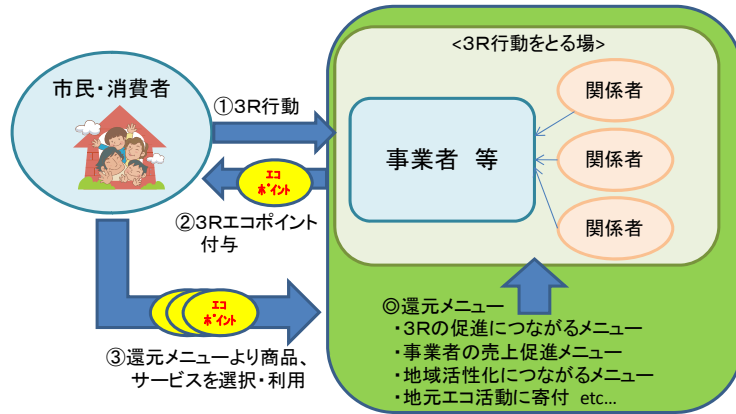
V 3R分野におけるエコポイントシステム導入に向けた提言

- 3Rエコポイントに取り組もうとする主体に対して
- 今後のガイドラインの検討に向けて
- 3Rエコポイントシステムの普及に向けて

4

3REcoポイントの概要

「3REcoポイントシステム」とは、特定の環境配慮行動(3Rにつながる環境行動)を促進するため、当該行動に伴いポイントを付与するとともに、獲得したポイントを商品やサービス等と交換する制度全般のことをいう。



5

3R行動とは

もったいない精神に則した3R行動の対象(例)

	衣服	食	住まい(生活)
リデュース	衣服・靴の補修	食べ物の売れ残りや食べ残しの抑制	レジ袋等の使い捨て製品の自粛や簡易包装製品の選択、マイ食器の利用、カーシェアリング他レンタル・リース制度の活用
リユース	不用品の融通、フリーマーケットでの提供、古着、ハンガーの再使用	びん・ペットボトル等リターナブル容器の再使用	リユース食器の再使用、家具・おもちゃ・陶器・なべ等の生活用品の修理・再使用、自動車リユース部品の利用、解体資材の再使用
リサイクル	使用済衣料品の回収協力	食料容器包装の回収協力、生ごみ・廃食用油の回収、食品トレイ・ペットボトル・卵パック、牛乳パックの回収	割り箸・陶磁器のリサイクル、リサイクル製品の購入、バイオマス肥料の利用、使用済製品の回収協力、浄化槽からのリン回収
その他、循環型社会づくりに貢献する行動		生ごみの水切り・乾燥、分別収集への協力	適正処理への協力
	事業者による3Rに資する新たなビジネスモデルの展開(製品の長寿命化や環境負荷低減に資する原材料・製品やサービスの利用) 行政によるグリーン購入・契約や環境管理システムの導入		

6

3R分野におけるエコポイントの意義・目的

3R分野におけるエコポイントの4つの機能

- ① 3R行動として何が行えるか、行うべきかを資源やエネルギーの削減・廃棄物の減量などの観点から具体的に明らかにする「見える化」機能
- ② 消費者・市民、事業者の新たな3R行動を「促進・浸透」させるとともに、既存の3Rの取組を将来にわたり「持続」させる機能
ポイント(金銭又は社会的評価)を消費者に付与することで、3R行動のうち、現状進んでいない、又は更に進めることが望ましい取組を促進・浸透させたり、さらに持続することで、行動を選択しながら柔軟に3R目標を達成するシステムである)
- ③ ポイントの還元・利用方法として3R行動を対象とした場合には、ポイントの利用を通じた3R行動など更なる環境配慮活動を「追加促進」する機能
- ④ ポイント付与や還元・利用を通じた環境貢献・社会還元、PR効果や集客振興効果のほか、経営や処理コスト削減などの「3Rとそれ以外の事業活動ないしは社会活動との協調・相乗効果の発現」機能

3Rエコポイントでは、上記の機能を踏まえ、行政、事業者、消費者・市民等の関係者間の連携を推進するとともに、特に消費者・市民の高い関心を具体的な3R行動に結びつけ、循環型社会の構築に向けて市民レベルから貢献していくことを目的とする。

7

3Rエコポイントの主体ごとの意義・役割(負担)・効果

主体分類	各主体が行う意義・目的	導入に当たっての役割、行うべきこと	効果(メリット)
行政	・政策目的(3R推進等)の実現	・3R行動の取組実施、企画・検討 ・制度面の確認 ・広報(住民に対する説明)	・廃棄物処理コストの縮減 ・廃棄物処理サービスの向上
事業者	・3Rの推進 ・一部の事業では、廃棄物の削減	・3Rの取組実施、企画・検討 ・3Rエコポイント事業の運営	・販売促進 ・CSRの実施
消費者・市民	・3Rエコポイントの取組への参加	・3R行動の実施	・ポイント還元 ・ポイントを活用した環境行動の推進
NPO/NGO	・3Rエコポイントの運営への協力による環境行動の推進	・3Rの取組の運営への協力	・社会貢献(NPO/NGOの設立目的の普及)

8

3Rエコポイントの事業類型

3Rエコポイント事業を

(1)入口、(2)体制、(3)出口に区分して考えると、以下のとおり類型化できる。

具体的に事業を検討する場合、各区分で適切なメニューを選択し、組み合わせることで事業を想定することができる。

(1)入口(IN)

○付与対象となる3R行動の類型化

X

(2)体制

○事業規模
○場所
○企画主体
○運営主体
○原資提供者
○事業への参加者
○ポイント交換システムの類型化

X

(3)出口(OUT)

○還元メニューの類型化

3Rエコポイントの事業類型(入口)-1

I 特定3R行動促進型(特定の3R行動を促進したい)

1)リデュース目的型(この類型に当てはまる3R行動例)

- ・簡易包装、レジ袋削減行動
- ・外食及び中食の食品ロス削減行動
- ・マイボトル、マイ箸、マイ食器の使用
- ・カーシェアリング など

2)リユース目的型(この類型に当てはまる3R行動例)

- ・リユースびんの使用、回収
- ・生活不要品の使用、持ち込み
- ・小型家電製品の回収
- ・自動車部品の使用
- ・住宅解体古家具、古材の使用、持ち込み など

3)リサイクル(マテリアル、サーマル)目的型(この類型に当てはまる3R行動例)

- ・ペットボトル回収、持ち込み
- ・リサイクル製品の購入、販売
- ・生ごみのたい肥化、たい肥の使用
- ・蛍光灯回収、持ち込み
- ・廃食油回収、廃食油利用製品の使用
- ・インクカートリッジ回収、持ち込み
- ・携帯電話回収、持ち込み
- ・古着、古布回収、持ち込み など

4)その他(ごみ拾い等)(この類型に当てはまる3R行動例)

- ・ごみ拾い など

3Rエコポイントの事業類型(入口)-2

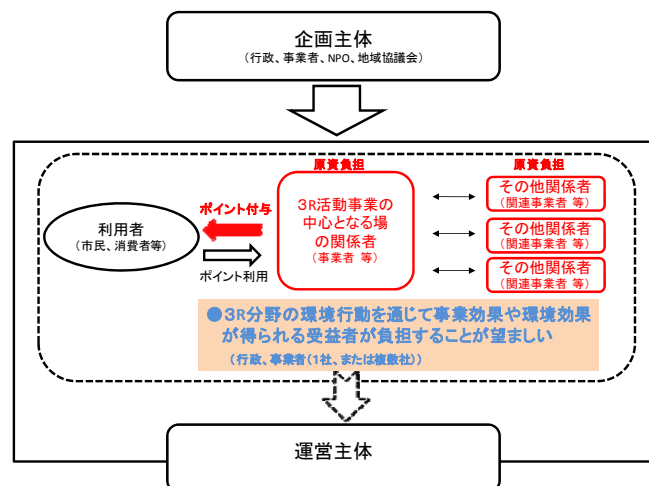
II 多目的型(特定の3R行動の促進に加え高次の目的を達成したい)

- 1) 複数3R行動同時促進型(様々な3Rを同時に達成したい)
(この類型に当てはまる3R行動例)
 - ・小売業活用
 - ・外食業(結婚式場合含む)活用
 - ・イベント活用
 - ・修理、リサイクル業活用
- 2) 地域振興同時促進型(地域振興も同時に達成したい)
(この類型に当てはまる3R行動例)
 - ・地域商店街活用
 - ・温泉街活用
- 3) 環境教育同時促進型(環境教育も同時に達成したい)
(この類型に当てはまる3R行動例)
 - ・公共施設(学校)活用
- 4) 特定3R行動類型促進型(特定の行動類型を同時に達成したい)
(この類型に当てはまる3R行動例)
 - ・宅配システム活用(回収系行動を一括して)

11

3Rエコポイントの事業類型

体制(例)



12

3REcoポイントの事業類型

出口(例)

既存のポイント還元・利用メニューの例

分類	還元・利用メニュー
物品交換方式	景品
	贈答品
	おもちゃ
	ごみ袋
	自宅記念花
商品購入連携方式	オリジナルマイバッグ
	商品引換券
	商品値引券
	ポイント分割引
金銭交換方式	プリペイドカード
	他ポイントとポイント交換
くじ方式	懸賞に応募
環境活動参加方式	環境団体・活動に寄付
	環境イベントへの参加
	植樹・植花

13

3REcoポイントシステムのケーススタディ

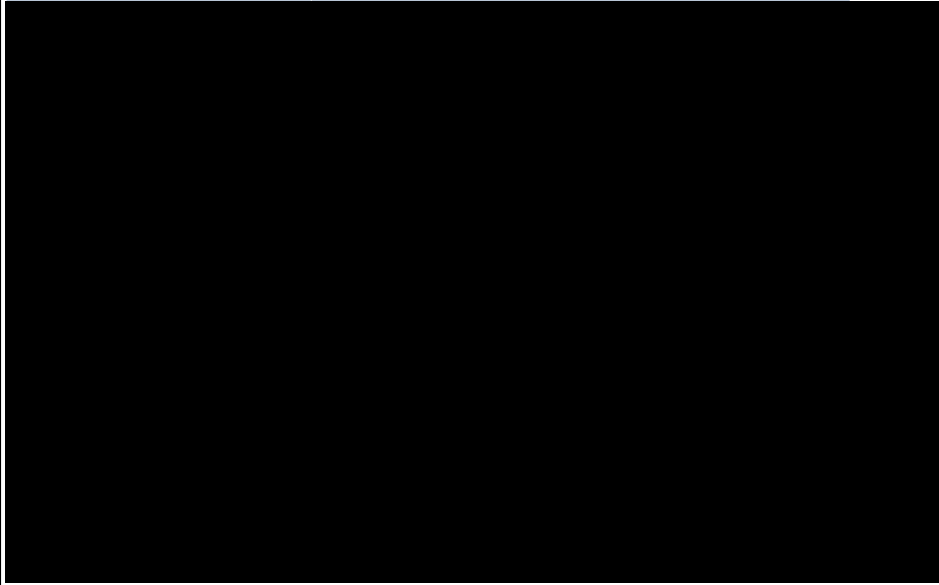
●既に取組が進んでいる事業を参考に、新たなインセンティブ付けをすることで、さらなる取組の促進を図ることを想定し、3REcoポイントの導入方法や関係者の役割分担について検討を行う。
また、事業実施効果や3REcoポイント制度導入に向けた課題の整理を行う。



- ①現状と課題
- ②3REcoポイントによる具体的な事業促進イメージ
- ③関係者の機能分担イメージ
- ④事業化に向けた連携・手続きフロー
- ⑤3REcoポイントによる事業実施効果
- ⑥3REcoポイント制度導入に向けた課題と施策の方向性

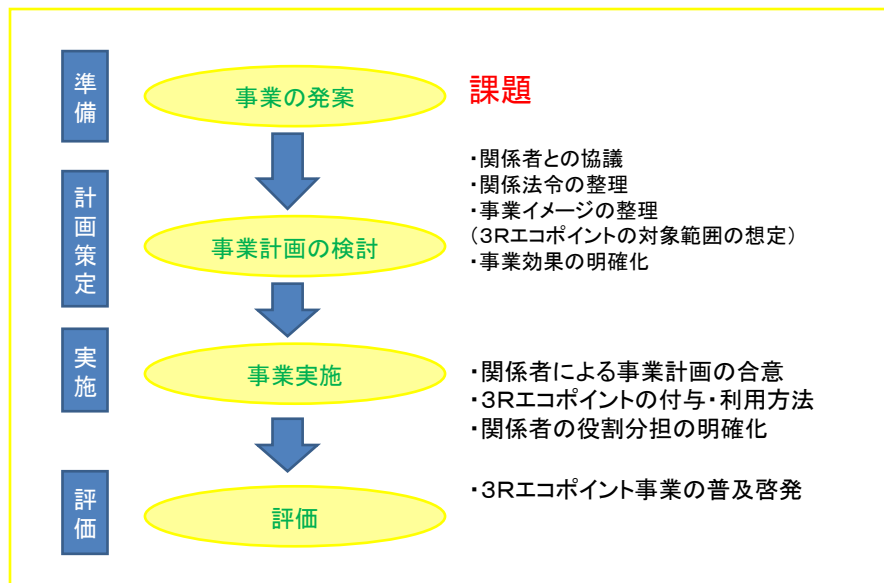
14

ケーススタディの具体的内容



15

課題



16

課題と方向性

- 「事業の発案」の段階
(関係者との協議)
(関係法令の整理など行政との相談)
(事業イメージの整理;ポイントシステムの対象範囲の想定)
(事業効果の明確化)
- 「事業計画の検討」の段階
(関係者による事業計画の合意)
(3Rエコポイントの付与・還元方法)
(関係者の役割分担の明確化)
- 「事業実施」の段階
(役割分担に応じた実施)
(3Rエコポイント事業の普及啓発)
- 「評価」の段階

17

3R分野におけるエコポイントシステム導入に向けた提言

3Rエコポイントに取り組もうとする主体に対して

「準備」の段階

- ・関係者の連携により「小さく生んで、大きく育てる」

「計画」の段階

- ・行政や地域のポイント負担の合理性や必要性などの見える化
- ・地域の取組の底上げを図ることを検討
- ・3R分野のポイントシステムをプラットフォームとして活用し、その他の環境分野や、健康・福祉・まちづくり等の他の分野に範囲拡大して利用することを検討

「実施」の段階

- ・3R行動の更なる見える化の検討
- ・ポイントの多様化に向けた様々なメリット付与などの検討
- ・事業への参加者が事業目標や各役割に応じた取組を進めること
- ・環境効果や、取組を通じた負担状況などについて、客観的評価

今後のガイドラインの検討に向けて

3Rエコポイントシステムの導入に向けては、関係者連携の上で、導入に向けた計画的な取組が必要である。そのため、事業促進に向けては、3Rエコポイントの事業の発案、事業計画の策定、事業実施計画に至るまで、共通する課題や、それを踏まえた取組視点などについて、事業の関係者に対して分かりやすい、事業効果の測定のための手法も含めたガイドラインを検討することが望ましいと考えられる。

18

3Rエコポイントを活用した想定事業のケーススタディ

(1) 特定3R行動促進型	①リデュース目的型	マイボトル普及に向けた取り組み
(1) 特定3R行動促進型	②リユース目的型	ガラスびんリユース促進に向けた取り組み
(1) 特定3R行動促進型	②リユース目的型	自動車リサイクル部品等の活用促進によるエコ・ユーザーの育成
(1) 特定3R行動促進型	③リサイクル(マテリアル・サーマル)目的型	生ごみのリサイクル促進に向けた取り組み
(1) 特定3R行動促進型	③リサイクル(マテリアル・サーマル)目的型	古着リユースリサイクル促進に向けた取り組み
(2) 多目的型	①複数3R行動同時促進型	小売店舗を活用した資源の拠点回収、リサイクル、リユースの推進
(2) 多目的型	②地域振興同時促進型	地域商店街における3R促進に向けた取り組み
(2) 多目的型	③環境教育同時促進型	学校での3R促進に向けた取り組み
(2) 多目的型	④特定3R行動類型促進型	宅配システムを利用した3R促進に向けた取り組み
その他(ポイント交換システム)		他地域のポイントシステムと3Rエコポイントシステムの連携

(注)本検討は、既存の取組を参考に、仮に3Rエコポイントシステムを導入することとした場合に考えられる想定事例(ケーススタディ)であり、実際の事業とは異なります。

マイボトル普及に向けた取り組み

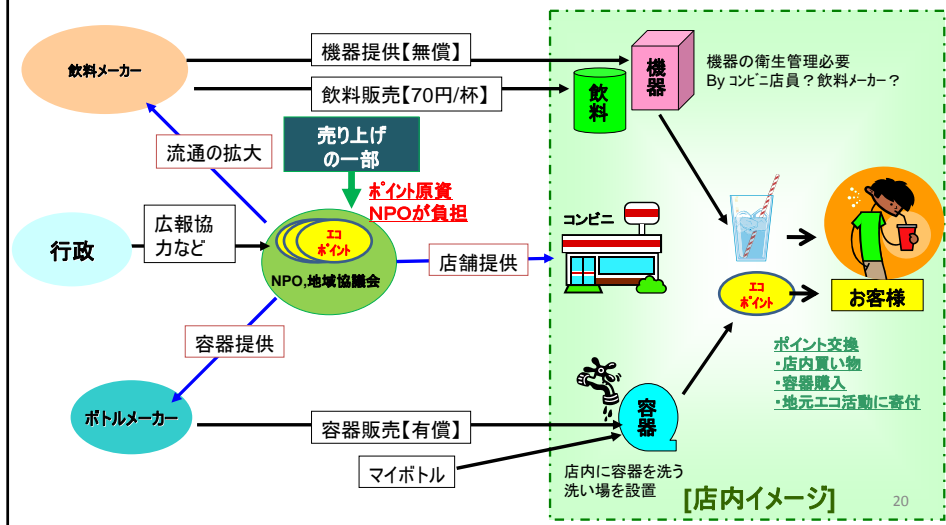
事業規模:A市

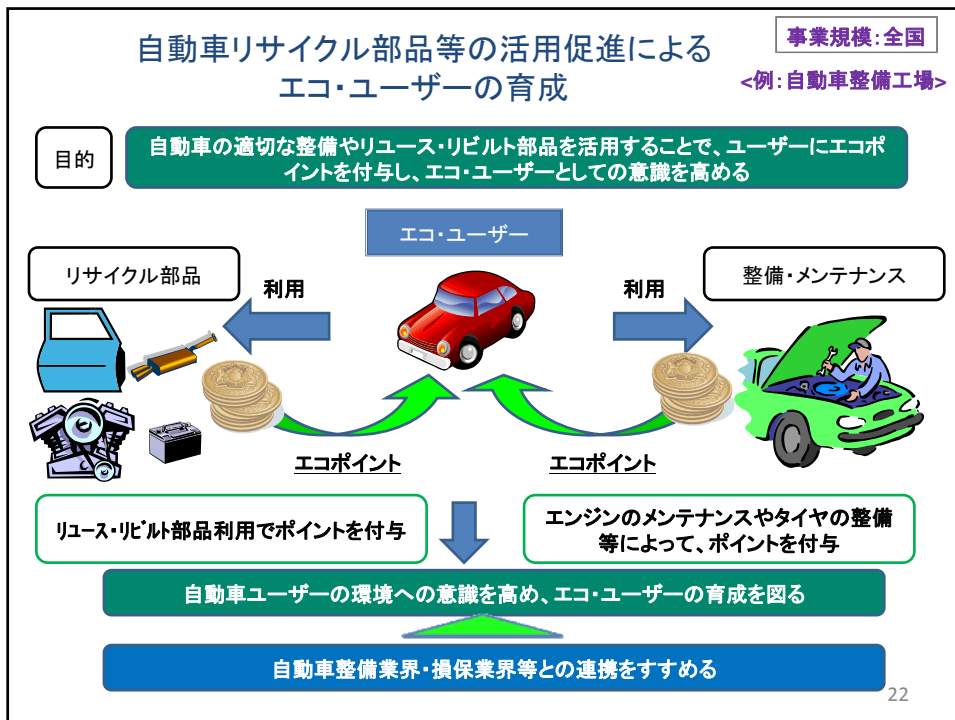
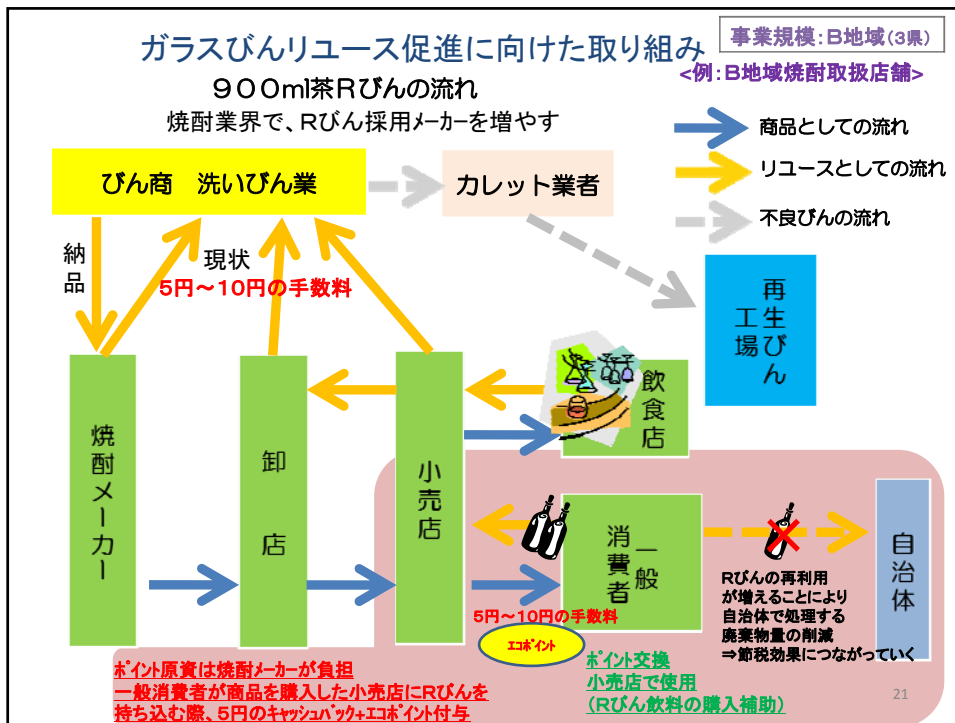
<例:A市小売業(コンビニ)>

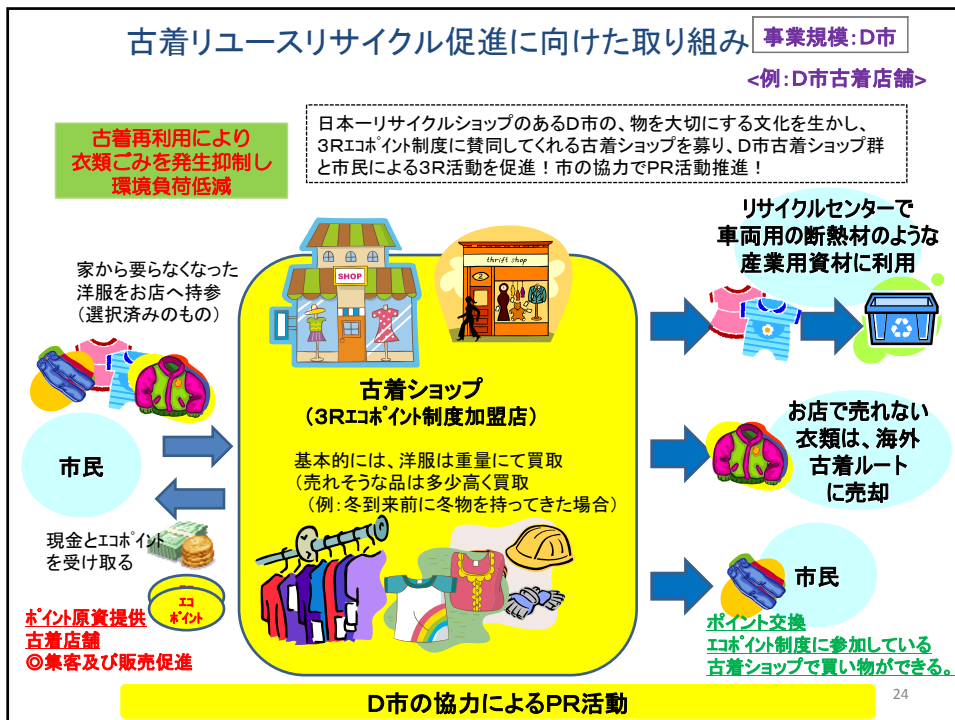
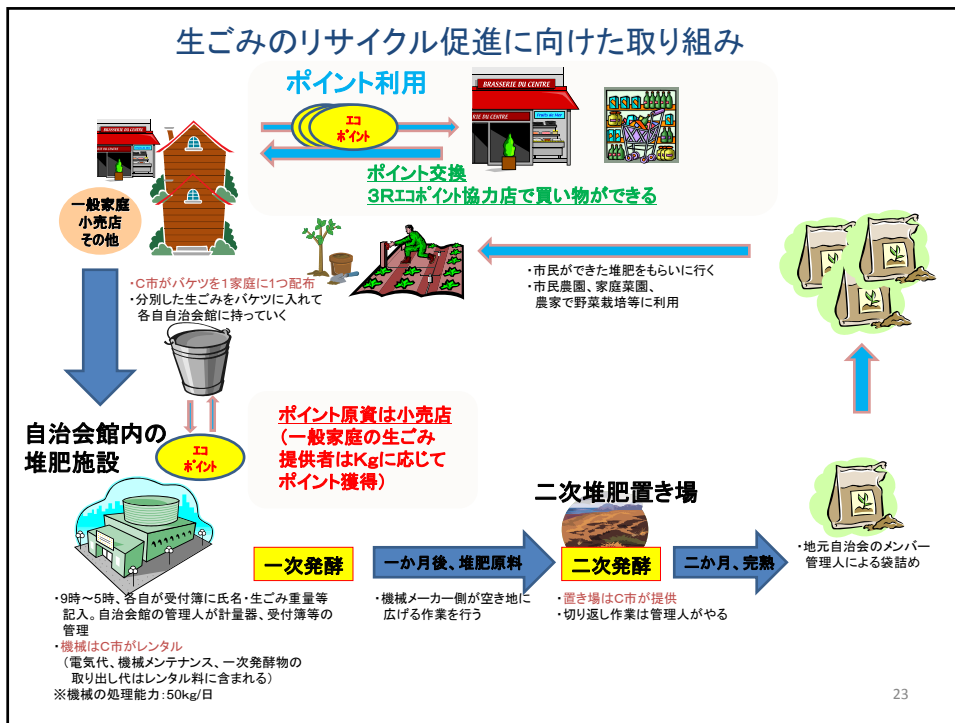
ペットボトルごみなど
発生抑制し環境負荷低減

課題・要望

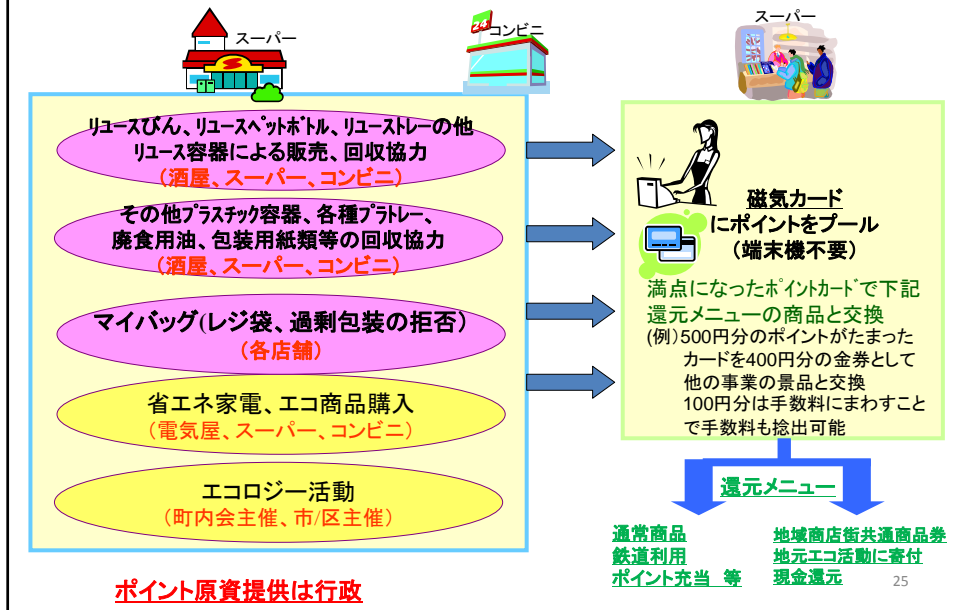
- 各コンビニ店既存のポイントカードに3Rエコポイントを加算することが可能か?
- マイボトルを持ち歩く文化を地元のイベント等で根付かせるアクションがもっと欲しい



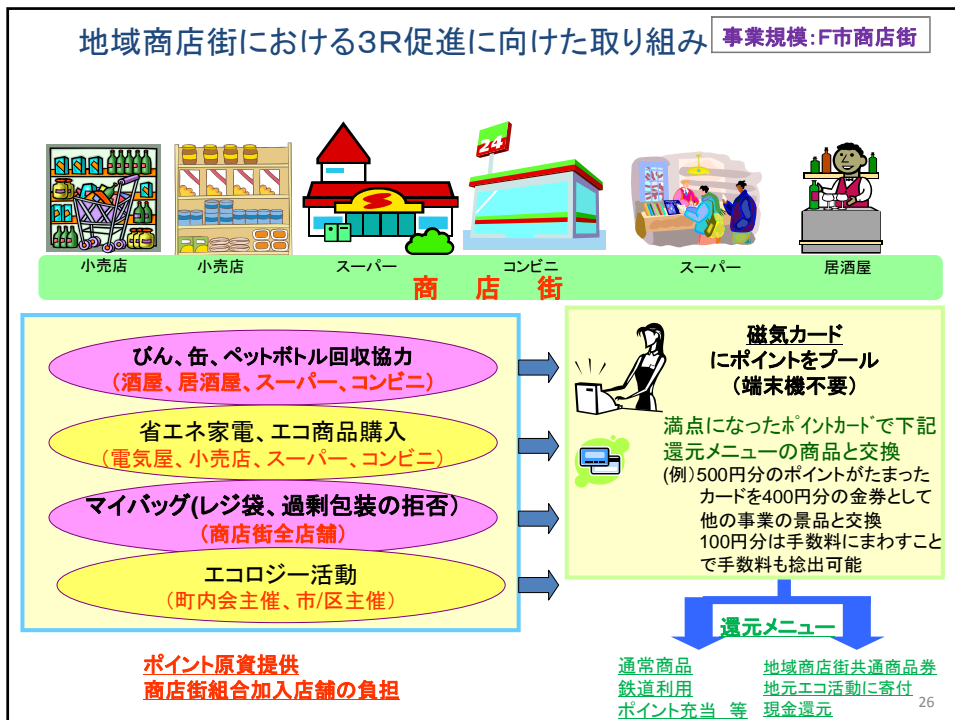


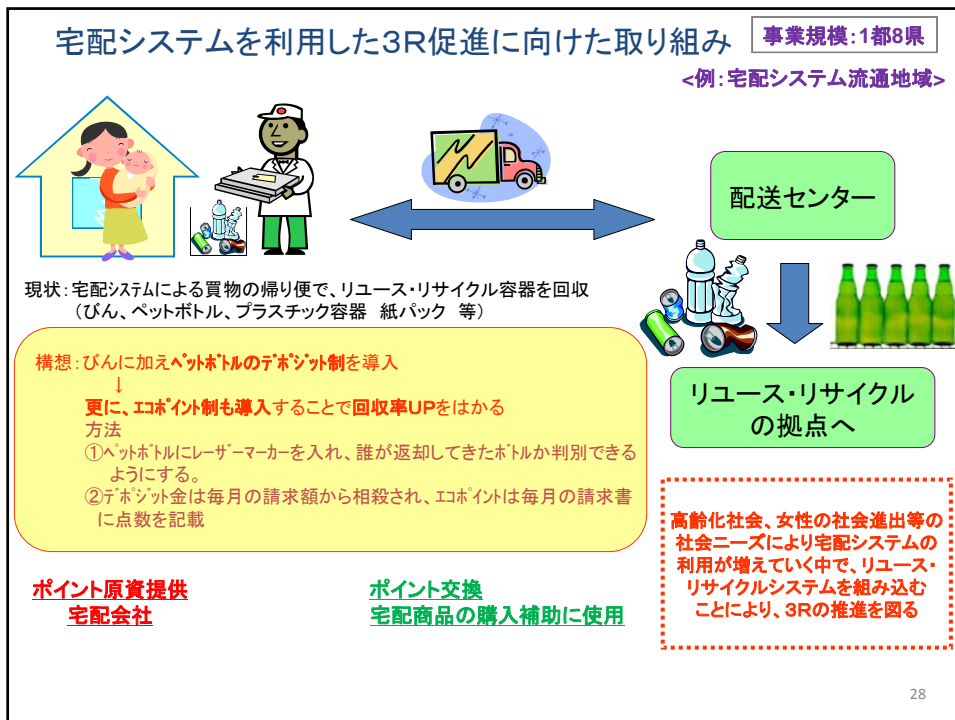
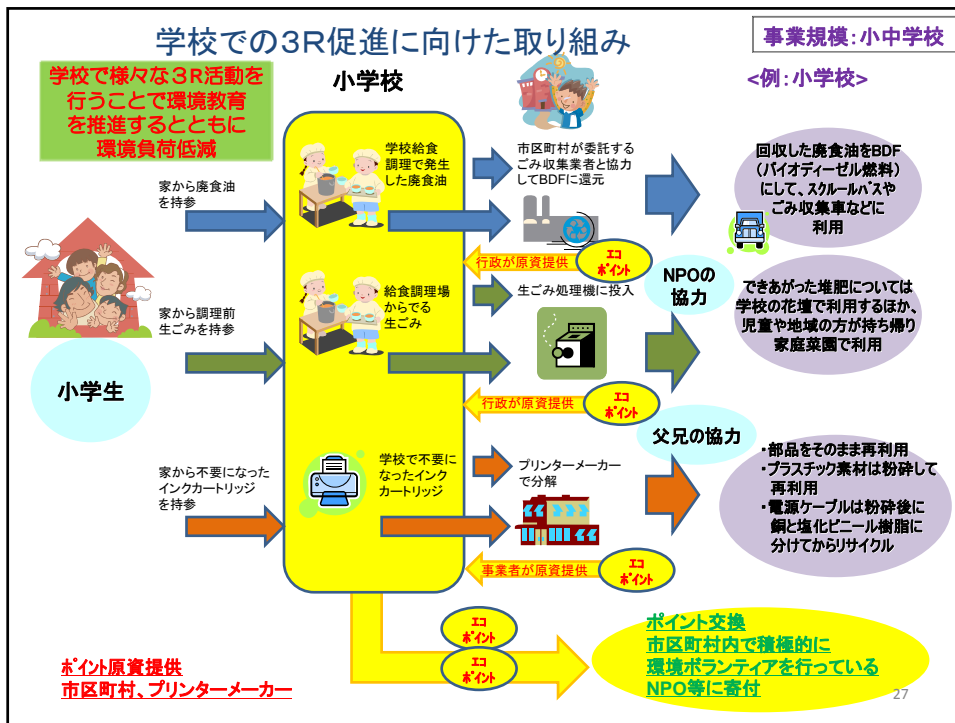


小売店舗を活用した資源の拠点回収、 リサイクル、リユースの推進

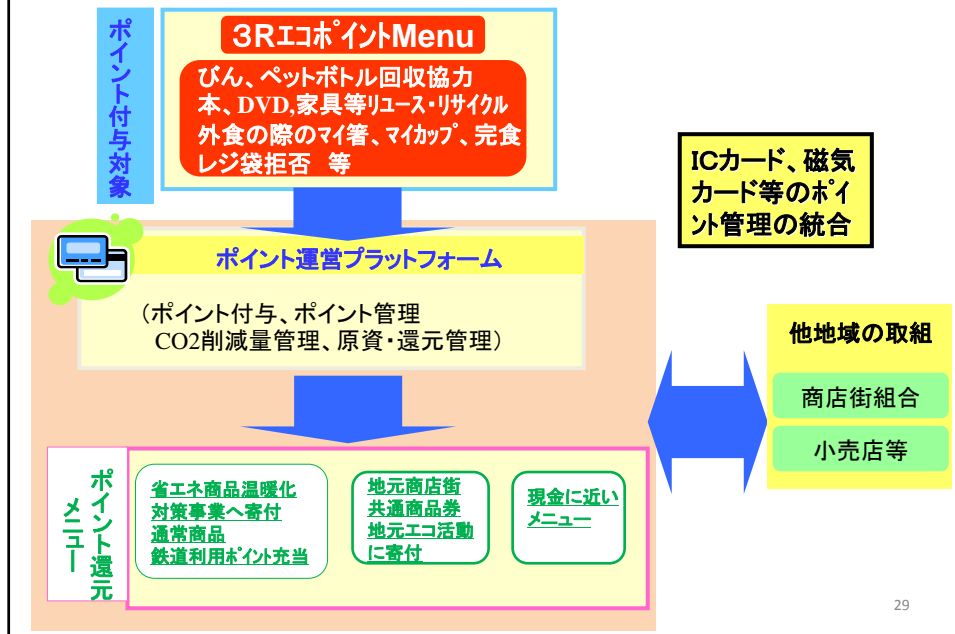


地域商店街における3R促進に向けた取り組み 事業規模:F市商店街





他地域のポイントシステムと3Rエコポイントシステムの連携



先進事例発表会の概要

環境省からの施策紹介とポイント制度を活用した循環型社会づくりへの取組の先進的事例紹介&パネルディスカッションを予定

- (1)日時: 平成22年3月12日(金)午後2時00分～午後4時00分
- (2)場所: Forum S 5東洋海事ビル地下1階 会議室A、B 〒105-0004 東京都港区新橋3-2-5
- (3)主催: 環境省
- (4)対象者: 市民、NGO/NPO等民間団体、事業者、行政関係者等(定員100名)
- (5)参加費: 無料
- (6)申込方法: (参加には、事前申込みが必要) 本発表会への参加を希望される方は、参加申込書に必要事項を記入いただき、平成22年3月5日(金)までに、下記の事務局まで電子メールまたはFAX(先着順で、定員に達したら受付を終了)
- (7)申込み及び問合せ先: (環境省3R推進事業支援業務事務局)
株式会社日経スタッフ 営業3部イベントグループ(担当:門馬(もんま)、東條(とうじょう))
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-1-2 日本経済新聞社別館
◆TEL:03-5294-2405/FAX:03-5294-2470◆電子メール: event@nikkeistaff.co.jp
- (8)進行プログラム(予定)
14:00～14:05 開会挨拶・趣旨説明
14:05～14:15 第2次循環型社会形成推進基本計画の進捗状況の第2回点検結果について
14:15～14:30 3Rエコポイント検討会の報告について
14:30～15:30 先進事例発表(1事例発表20分)
・あだちエコネット事業
・ぎふ・エコライフ推進プロジェクト(レジ袋削減、マイ箸、マイ容器等の容器包装廃棄物の3Rの取組)
・北九州市民環境バスポート(カンバス)事業
15:30～16:00 パネルディスカッション・質疑応答
「今後の展望について(仮題)」
◇コーディネーター 大森 恵子(環境省大臣官房企画課循環型社会推進室 室長)
◇パネリスト 崎田 裕子(ジャーナリスト・環境カウンセラー、中央環境審議会委員、3Rエコポイント検討会委員長)
ほか、上記先進事例発表者が参加
16:00 閉会

※ 上記内容は現時点での予定です。発表者の都合等により、プログラムの一部を変更する場合がありますことを御承知おきください。